

論文内容要約

論文題目

胃原発悪性リンパ腫の放射線治療における適正な標的体積の検討

責任講座： 放射線腫瘍学 講座

氏 名： 三輪 弥沙子

【要約】

限局型胃原発悪性リンパ腫に対する全胃照射は現在の治療法の中で重要な位置を占めている。放射線治療において標的体積の再現性は重要な要素であるが、それに大きく関わる要素として臓器移動・変形がある。胃はこの臓器移動・変形を構成する要素が他臓器に比べて多く複雑な臓器である。放射線治療では照射中の臓器移動・変形(体内標的体積: ITV)と照射期間中のセットアップ・機械の誤差(計画標的体積: PTV)を含めて標的体積とするが、これまでに胃に関してITVとPTVを分割して詳細に検討した報告はない。本研究では胃に対する適正な標的体積を算出するため、ITVとPTVに対する推奨マージンを決定した。